

大學コンソーシアム富山 令和2年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和2年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学
趣旨・目的	富山の歴史・文化、環境、産業の現状、立山連峰や富山湾に代表される富山の自然環境を学び、富山の特色を理解する。そして持続可能な社会、地域づくりを考え、未来の富山や世界の姿を展望する。
開催日時	令和2年8月31日(月)～9月3日(木)の4日間 1日4コマ×4日間の集中講義
開催場所	富山県農協会館8階大ホール、パレブラン高志会館2階カルチャーホール
参加人数	学生137名 【内訳】・富山大学26名 ・富山県立大学74名 ・高岡法科大学4名 ・富山短期大学1名 ・富山高等専門学校12名 ・富山国際大学21名
事業内容	<p><b>【2020年度概要】</b></p> <p>今年度のとやま地域学のテーマは、「過去から未来へー富山の未来創造ー」として、県内大学生の皆さんに富山への理解を深めてもらおうと企画しました。今年度の特色は、デジタル社会とは何か、また、コロナ禍における最新の新型コロナに関する情報を学ぶ機会を提供しました。講師陣は富山在住の研究者・専門家を招聘し「データから見る越中・富山」、「豊かな森・里・川・海の自然環境」、「ビッグデータとデジタル技術がもたらす社会変容」、「新型コロナウイルス感染症」について解説いただき、富山の魅力と課題を理解し、アフターコロナ時代においても一人ひとりが輝く富山の地域づくりに参画できる人材の基礎力の育成を目指しました。終了後の学生評価はおおむね4点以上（5点満点、ただし会場の環境は3点台）で好評であった。</p> <p><b>第1日目：8月31日(月)</b></p> <p>① オリエンテーション</p>  <p>② ③ ④地域創りの大転換 1,2,3 (富山地域学研究所長 (元富山国際大学教授) 浜松 誠二 氏)</p>  

**第2日目：9月1日(火)**

**⑤ ⑥ ⑦日本史の舞台となった越中**

(前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原寛 氏)



**⑧越中（富山県）の歴史—売薬業から見た近世・近代**

(富山市郷土博物館 館長 坂森 幹浩 氏)



**第3日目：9月3日(水)**

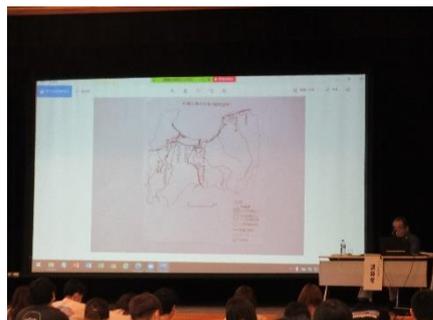
**⑨富山の自然とエネルギー**

(富山国際大学 現代社会学部 教授 上坂 博亨 氏)

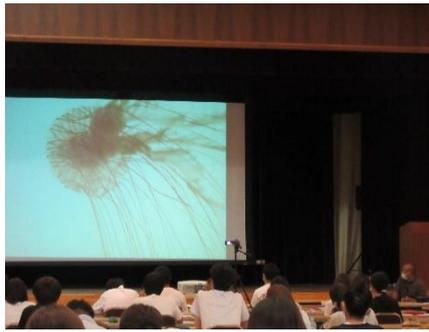


**⑩ ⑪富山の自然と地域づくり 1,2**

(早稲田大学 名誉教授 宮口 侗弼氏)



⑫水中カメラから見た富山湾  
(水中カメラマン 大田 希生 氏)



第4日目：9月3日(木)

⑬立山から見る富山の自然  
(富山県立山砂防博物館 学芸課長 飯田 肇 氏)



⑭未来の富山ービッグデータとデジタル社会がもたらす社会変容  
(富山国際大学 学長 高木 利久 氏)



⑮新型コロナウイルス感染症について  
(富山県理事・厚生部次長 木内 哲平 氏)

